

問診によるBAS 臨床グレード (Poncet2005)

呼吸徴候の種類	頻度					
	なし	たまに 月に1回未満	ときどき 週1回程度	毎日 1日1回程度	よくある 毎日1回以上	常にある
いびき	グレード1	グレード1	グレード1	グレード1	グレード2	グレード3
吸気努力	グレード1	グレード1	グレード2	グレード2	グレード2	グレード3
運動不耐性・ 運動をいやがる	グレード1	グレード2	グレード2	グレード3	グレード3	グレード3
失神	グレード1	グレード3	グレード3	グレード3	グレード3	グレード3

 グレード1

 グレード2

 グレード3

* 症状によって相当するグレードが異なる場合は、最も高いグレードを実際の分類とする。

Poncet CM, Dupre GP, Freiche VG, et al. Prevalence of gastrointestinal tract lesions in 73 brachycephalic dogs with upper respiratory syndrome. *J Small Anim Pract* 2005;46:273-279. p274 Table 1を引用、改変

BAS 臨床グレード (VeRMS Study Group)

呼吸徴候の種類	頻度					
	なし	たまに 月に1回未満	ときどき 週1回程度	毎日 1日1回程度	よくある 毎日1回以上	常にある
いびき、あるいは覚 醒時スターター	グレード1	グレード1	グレード1	グレード1	グレード2	グレード3
吸気努力、あるいは ストライダー	グレード1	グレード1	グレード2	グレード2	グレード2	グレード3
運動不耐性、冬 でも運動開始1分 以内で開口する	グレード1	グレード2	グレード2	グレード3	グレード3	グレード3
失神歴、あるいは 運動中チアノーゼ が生じ2分以上動 けなくなる	グレード1	グレード3	グレード3	グレード3	グレード3	グレード3

グレード1
 グレード2
 グレード3

基本的に「問診によるBAS 臨床グレード(Poncet2005)」に従う。各呼吸徴候について黒字で評価難の場合、赤字の当研究会解釈を使用する。



Veterinary Respiratory Medicine and Surgery
Study Group

適用時の注意点

- 季節変化などに影響を受け、発症度合いにばらつきがあるなら、症状が最も強いときを評価
- アンケートではなく、獣医師の問診によって状況を判定
- 各徴候ごとにグレードを評価し、最終評価は平均値で算出
例; いびき グレード2、吸気努力 グレード2
運動不耐性 グレード2、失神 グレード1

➡ **グレード判定は $7/4=1.75$**

-第11回犬・猫の呼吸器勉強会 BAS研究班報告(2021.4.12)による